

1.トヨタ財団をいつ頃知ったか？	今回のプログラム公募をきっかけに知った	112
	半年前から	25
	一年以上前から	143
2.トヨタ財団への応募歴	ある(国内助成:54 研究助成:1 東日本大震災:2)	57
3.プログラムを知った経路	トヨタ財団広報誌「JOINT」	12
	新聞、雑誌等	1
	オルタナs	1
	THE BIG ISSUE	1
	口コミ	112
	トヨタ財団の助成を受けている(受けていた)人から	21
	それ以外のトヨタ財団について知っている人から	67
	トヨタ財団の職員等、関係者から	15
	その他	9
	インターネット	157
	トヨタ財団のウェブサイトから	58
	助成財団センターの助成金検索で検索して	35
	中間支援組織等が運営する助成金情報サイトから facebook、ツイッター、フロクなどのソーシャルメディアから	18
その他	3	
その他	30	
4. 今回のプログラムや企画書について (おもに複数回答があったものを記載)	・企画書について、解決が必要な課題→アウトプット→アウトカム→インパクトと、流れを追って記入できると、書き手の思考も整理し易く、読む方も理解しやすいのでは。	
	・企画書自体にもう少し図版や添付資料などが差し挟める余地が欲しい。	
	・2年単位のプロジェクトだけではなく、1年単位など短期のプロジェクトも対象になると、プロジェクトの内容に合わせて選択できるのありがたい。	
	・ウェブ上での申請は効率的でありがたい。	
	・企画書の内容も、記入しながら自分自身ブレインストーミングできた。	
	・プロジェクトの経年助成はとていい。	
	・人件費の捻出が可能であるということが、基盤強化をするうえでありがたい。	
	・申請をきっかけに職場内で異業種間の交流が促進され、申請準備をするだけでも大変有用な効果が見られた。今後の活動に大変有効。	
	・予算の項目だけはエクセル指定していただくと助かる。	
	・企画書にプロジェクト立ち上げの背景を書ける項目がなかったので、あると良いと思った。プロジェクト立ち上げまでに地域には、様々な取組があり、プロジェクトはその延長線上にあるものだからそういった内容を簡単に書くことができると良い。	
	・企画書をメールで送れるといいなと思った。	
	・企画書を作成することにより、当会の事業内容・事業計画・展望を整理することができた。	
	・記入の様式が昨年度と変更されていたが、プロジェクトについてよりロジカルにとらえることができた。	
	・検証・提言のプログラムは、アフターケア・フォローアップの仕組みとして、とても良いと感じた。	
・社会的インパクト評価の概念を取り入れた素晴らしい助成プログラムだと思う。		

◆プログラムを知った経緯	1.トヨタ財団広報誌「JOINT」	7
	2.新聞、雑誌等(具体的に)	3
	3.オルタナs	0
	4. THE BIG ISSUE	2
	5. 口コミ	25
	6. インターネット(具体的に)	27
	7. 公募説明会等のイベント	3
◆応募しなかった理由	1. 募集要項を確認したところ趣旨と合致しなかった。	4
	2. 企画書の記入が難しかった。	1
	3. 企画が十分出来上がっていなかった。	42
	4. 応募システムがわかりにくかった。	3
	5. 他に適切な資金を確保できることになった。	0
	その他(地域との調整に時間がなかった、東日本大震災復興プログラムに応募を考えた、療養中の為、体調と見合わせた、検証・提言助成に応募することにしたため、同じグループの他のメンバーが応募した、他団体と共同したため、パソコンがMacで、書類のダウンロードがうまくいかなかったことと、wordがなかったため応募できなかった。)	24
◆その他ご要望、ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・応募要件にあった、・住民、NPO、行政、企業、教育機関など多セクターの参加があること の項目に対し、現段階では、まだ準備不足のため。 ・何度やっても次のサイトにアクセスができなくて、断念した。もう少し、わかりやすくしてほしいです。 ・応募のプロジェクトに関する記入項目を簡潔にして頂きたい。 ・確実な遂行のためには当然重要とは思いますが、かなり実績を重視しているように感じました。 ・記載内容が膨大であり資料がまにあわなかった ・個人で起業し、その会社の事業の一部を助成金に申し込もうと考えていました。しかし、起業のほうに時間がかかり今年度は応募に間に合わなかった。 ・写真など、視覚的にアピールしたかった。提出書類のしぼりの中で表現しきれない部分がありました。自由に作成できる部分が少しでもあるとよい。 ・助成を受けるからには如何に有意義に次に繋げる使い方をするか、今回応募にあたり、真剣に取り組む、まだまだ活動の詰めの甘さにもぶつかった。 ・このように出せなかったエントリー団体へのフォローアンケートがあることにとても好感を持った。 ・今回SIBでの事業実施が難しいと判断したため、地域での実施を自主事業での運営に変更する動きとなった。もう少し社会的事業の要素が増えた時にまたご相談させてほしい。 ・東日本大震災の復興事業等々人材育成等々子ども育み保育等々にスポットを当ててほしい。 ・今回は先走りすぎてエントリーしてしまい申し訳ございませんでした。 ・面白いので今後も続けてください 	
◆プログラムについて改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、応募にあたり、改めて活動について向き合ういい機会を頂きました。今回はまだ機が熟していないと実感し、応募を見送らせて頂きましたが、今回の向き合いにより、活動の将来像を明確にしつつあります。また機会がありましたら、応募させていただきます。よろしく願いいたします。 ・システムが開けなくなった ・応募システムの説明不足 ・応募内容の詳細を重複して書く場所があるように思えた。 ・記入のしやすいやり方 ・結果通知と事業開始の時期の間隔をもう少し長く開けてほしい。3月下旬に決まって4月始まりだと、他の事業の計画が立てづらいため。 	